

## 【古川興業株式会社】

2021年度工事は、コロナ禍で「緊急事態宣言」が発令された中で開始されました。安全・安定輸送のため「基本ルールを愚直に守る」ことの実践はもとより、社員・家族の健康情報にも気配り、体の安全も確保しながら施工しています。

## 《作業紹介》 福島県沖地震 復旧作業

東北新幹線は2月13日23:08福島県沖の地震(M=7.3)により、電柱や高架橋の柱、架線の金具など計約940カ所が損傷、一部区間(那須塩原～一関)で運転見合わせが続きましたが、約10日後の2月24日に全線再開しました。

当社は、地震翌日から全線再開まで、連日復旧作業に従事し延べ321名が軌道整備等にあたりました。(写真)



JR東日本のTwitter内で公式紹介

通常の夜間施工から急遽昼間の施工となり「コロナ対策」+「体調維持」にも十分注意しながら施工しました。

また2月24日全線再開以降も通常運転320km/hに戻すため、3月中旬まで軌道整備を継続して、3月26日の通常運転を無事迎えることが出来ました。年度末工事と競合した慌ただしい2020年度末を経験しました。

2011年3月東日本大震災から10年、当時の復旧作業に従事した社員が経験を活かし、今地震の復旧作業でも中心となって貢献することができました。

5月6日JR新幹線統括本部 原田彰久設備部長様が弊社に来社され、地震時の対応に対し「感謝状」の贈呈がありました。関係者一同、労を労うことが出来ました。



表彰後、GW作業規制明け立上り教育に参加し、安全等についてご指導していただきました。年度末の地震対応で区切りがないまま新年度がスタートしましたが、この「感謝状」を励みに1か月遅れですが、2021年度「安全な作業」と「上質な施工」を目標に、所員全員新たな気持ちで取り組んでいます。



## 《職場のホープの紹介》

今回は、当社の若手3名を紹介します。若手と言っても入社3年目、4年目となり、中堅社員として日々の工事に従事しています。3名は小柄ではありますが「若手」から「ホープ」へと大きく成長するべく各種資格も取得し、活躍の場を広げて取り組んでいるところです。

先輩達からは、まだまだ厳しい指導が入ることがありますが、日々理解を深めて少しずつ確実に成長している前向きな姿を見せてくれているので、今後も見守るとともに更なる成長を期待しています。

## ○職場のホープの紹介 佐藤 真聖(さとう まさと)21歳

《軌道経験》 4年目

《抱負》 一人前になれるように日々の仕事を頑張ります。

《特技》 弓道

《趣味》 スノーボード、神社めぐり、カメラ

《夢》 貯金してマイカーを買う



## ○職場のホープの紹介 武内 優太(たけうち ゆうた)22歳

《軌道経験》 3年目

《抱負》 先輩方に少しでも早く近づけるように頑張ります。

《特技》 野球

《趣味》 釣り

《夢》 億万長者になる



## ○職場のホープの紹介 田村 龍聖(たむら りゅうせい)20歳

《軌道経験》 3年目

《抱負》 暮らしに欠かせない鉄道の一翼を担い社会に貢献したい。

《特技》 いつでも寝ることができる

《趣味》 e-スポーツ観戦、ゲーム

《夢》 億万長者になる

